

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティ事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課			
施策	2-6		市民の主体的連帯活動に支えられたコミュニティの推進	主管課長	樋口 洋徳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	コミュニティ課職員	意図	事務管理の効率化を図る。
事業内容	各種コミュニティ運営に関する事務に必要な経費を管理する。			
事業開始から現在までの状況変化	各種事業が効率よく実施できるよう毎年検討している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	事務改善件数	1	1	1	件	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 事務管理に要する経費抑制を図るため、課内で管理する紙ベース資料のデータ化を進めている。
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	5,474,630	4,943,031	5,373,669	
事業費(b)(円)	4,066,430	4,084,081	2,307,409	
うち一般財源	4,066,430	4,084,081	2,307,409	
職員給与費(c)(円)	1,408,200	858,950	3,066,260	
人役・職員(人)	0.12	0.05	0.38	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)	0.30	0.30	0.30	
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	各会議における委員への開催通知等をメールで事前配布し、当日持参の依頼をする。	③取組の課題	コピー使用枚数の削減するとともに、その他事務経費の節減に努める。
②今年度(H29)に実施した取組	事前配布資料の持参を依頼した。職員へコピー使用の削減周知を図った。	④今後(H30以降)の改善計画	職員に対しコピー使用削減を注意喚起し、経費の削減に努める。